

近畿地方整備局管内 砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 実施要領

1 目的

平成8年に長野・新潟県境の蒲原沢で発生した土石流災害では砂防工事の作業員が犠牲となった。この災害を踏まえ施工条件が厳しい砂防工事現場における更なる安全施工管理技術の向上を図るため、近畿地方整備局管内の砂防工事等（国及び府県事業）の現場において実施された安全施工管理に関する創意工夫や開発された新たな技術等についての研究成果や取組みについて発表し、広く共有することにより技術の研鑽を図ることを目的とする。

2 主催

国土交通省 近畿地方整備局 河川部
(事務局：河川部 地域河川課 及び河川工事課 [総括])

3 開催時期

毎年下半期に行う。

4 実施内容

安全施工管理技術研究成果の発表、表彰、並びに働き方改革としての有益な取組(以下「有益な取組」とする。)を紹介する。

(1) 募集対象

完成から1年程度または工事中の砂防関係工事における研究論文及び有益な取組とする。

□研究論文

- ・砂防関係工事の安全施工技術の向上に貢献するもの
- ・安全対策に創意工夫をこらし、その効果が他の工事の見本になるもの

□有益な取組

- ・工事安全の視点に限らず、他の砂防関係工事に対し働き方改革としての有益な知見を与える取組み

(2) 募集方法

論文等については、砂防関係工事の現場代理人等が別紙-1 発表論文作成要領及び別紙-2 有益な取組調書により作成し、砂防関係工事の各発注者等(直轄砂防関係事務所、府県砂防担当課)を経由して事務局へ提出する。

5 選考方法

優秀論文、奨励論文及び有益な取り組みは、別に定める近畿地方整備局管内砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会論文選考実施要領に基づき、表彰を受けることが適当で認められる研究論文（優秀論文、奨励論文）及び有益な取り組みを選考する。

優秀論文の中から全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会へ推薦する研究論文を選考する。また、応募取組の中から全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会へ推薦する有益な取組を選考する。

6 表彰

(1) 表彰権者

国土交通省 近畿地方整備局 河川部長

(2) 表彰対象

優秀論文、奨励論文

(3) 表彰の方法

表彰は、表彰権者が表彰状等を授与して行う。

(4) 表彰の時期

表彰は年1回とし、表彰式は速やかに実施する。

7 その他

この要領は必要に応じて改正する。

附則

この要領は、令和 6年9月11日から施行する。

全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 発表論文作成要領

1. 内 容

発表論文は、砂防関係工事の安全施工技術の向上に大いに貢献する優れた論文です。発表内容に関する聴講者の理解を助け、併せて聴講できない方に聴講内容を周知させるものなので、研究の考え方と結論を簡潔に説明できる内容に作成すること。

2. 論文原稿の作成

パソコンにより、下記「4. 論文形式」での作成を原則とし、A4版・縦とする。

3. 論文原稿の枚数

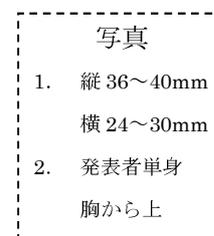
4枚必須とする。

4. 論文形式について

イ) 発表題目及び発表者等の記載例

まるまるさぼうえんていこうじ
○○砂防堰堤工事におけるまるまるあんぜんたいさく
○○安全対策について

○○建設(株) ○○○砂防堰堤工事
(工期○年○月～○年○月)



現場代理人 砂川一郎
監理技術者 砂谷二郎
現場担当 ○すなやまきぶろう砂山三郎

キーワード 誘導・標識・○○等

ロ) 記載上の注意

- ①発表題目及び発表者には**必ずふりがな**を振ること。
- ②共同発表者は3名までとする。
- ③発表者に○印を付けること。
- ④論文の内容を象徴するキーワードを3つ程度記入すること。
例：土石流・第三者事故・崩落事故・墜落・転落・落下・はさまれ・感電・接触・埋没・激突・見落とし・玉かけ・点検・足場・重機作業・落石・防止ネット・誘導・KY活動・点検・創意工夫等。
- ⑤論文の原稿は、一太郎やワード等のワープロソフトで作成すること。
- ⑥論文原稿とは別に発表用資料を作成する際はパワーポイントの使用を前提に、表示比率を「標準（4：3）」で作成すること。※ワイド（16：9）での作成を避ける。
なお、提出は電子メール、若しくは電子媒体（CD-R等）を活用すること。

5. 本文の記載に当たっての注意事項

① 文字の体裁

題名、所属、職名及び発表者名は、本文よりやや大きめに書くこと。

② 図、表、画像写真等

画像データや図表は論文にデータを貼り付けて提出すること。

(カラー図表等使用可能)

なお、画像、図、表等の左右に余白ができたときは、その部分にも本文を記入すること。(右記参照)

例：図,写真の
貼付

写真 1.〇〇状況

③ 文章の構成

イ) 本文のはじめに、検討に至った経緯や目的を「まえがき」として書き、終わりに「まとめ」を簡略に書くこと。(『序論』『本論』『結論』により構成されていること)

ロ) 本文の章、節及び節以下は、次の記号を使用すること。

章 1、2、3、

節 1.1、2.1、2.3

節以下 1.1.1、2.1.1、2.1.2

ハ) 参考文献を利用した場合は、論文の最後に必ず記載すること。

ニ) 論文の作成に当たって、外部から協力を得た場合は、論文中に謝辞を記載すること。

6. その他

過去の事例(「全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会 優秀論文集」等)を参考とすること。

なお、過去の事例については、以下ホームページにて閲覧可能である。

URL : <https://sabokojianzen.com/>

全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会に係る

働き方改革としての有益な取組調書

発注者名等：	例) ○○整備局 ○○事務所、○○県○○建設事務所 等		
工事名：	こうじ (←必須ふりがな)		
	■■工事		
受注者名：	かぶしきがいしゃ (←必須ふりがな)		
	株式会社 ◆◆		
1. 取り組み概要			
	キーワード：例) 無人化施工、ICT 施工、省力化、担い手確保、女性活躍、広報、地域貢献、環境改善、その他(○○)		
	概要：		
	状況写真：		
			
	写真タイトル(状況等)	写真タイトル(状況等)	
2. 砂防関係工事安全施工管理技術研究論文内容との重複			【有・無】(←不要文字消去)
有の場合	論文名：	(タイトル)	
	執筆代表者：	(現場代理人名等)	
	全国の研究発表会への論文応募の有無	【有・無】(←不要文字消去)	
3. 参考資料の有無			【有・無】(←不要文字消去)
※参考資料は別添願います。 なお、写真等について、他の資料への転用・転載不可の場合はその旨記載願います。			
4. 発注者コメント(砂防関係工事の特性との関係に触れて下さい) ※発注者記入欄			
	理由：		

全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会
働き方改革としての有益な取組調書 記入要領

1. 内容

本発表会における『働き方改革としての有益な取組』とは、工事安全の視点に限らず、ICT施工、無人化施工の活用、生産性の向上など、今日的な課題に対処するための建設工事の働き方改革としての取組のうち、砂防関係工事に特有な課題への対応、または砂防関係工事の現場特性を踏まえて他の砂防関係工事に有益な知見を与える取組みと定義する。

本調書の作成は、以下に記載の視点及びキーワードを参考とする。

【視点】

- 1) 砂防工事実施への理解促進のための幅広い広報
- 2) 担い手確保のための取り組み
- 3) 休暇の確保や女性活躍など建設工事に係る働き方改革の取り組み
- 4) ICT 施工・無人化施工の活用事例に係る工夫
- 5) その他 他の砂防関係工事の参考となり顕彰すべき取り組み

【キーワード】

- ・無人化施工、ICT 施工、省力化、省人化、担い手確保、女性活躍、広報、地域貢献、現場(職場)環境改善、安全対策、IoT 等

2. 作成

○作成者

- ・調書は、砂防関係工事の現場代理人等が作成し、砂防関係工事の各発注者等(直轄砂防関係事務所、都道府県砂防担当課)の推薦(発注者等のコメント追記)を受け、各地方整備局を経由して事務局へ提出する。

○有益な取組調書

- ・A4版 縦 1枚とする。
- ・「工事名」「受注者名」にはふりがなを付する。

○参考資料

- ・概要の補足資料
- ・追加写真
- ・砂防関係工事安全施工管理技術研究論文
- ・事務所等における論文発表資料(PPT)

○発注者等のコメント

- ・発注者等は、有益な取組と砂防関係工事の特性との関係について、簡潔にコメントを付する。